

# 校内研究通信

令和3年11月22日  
福生市立福生第六小学校  
研究推進部通信 Vol. 3

## 研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える  
～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を通して～

昨年度の研究アンケートで、児童の粘り強さや、最後まであきらめずに取り組むことに課題があった。そのため、資質・能力の三観点のうち、「主体的に学習に取り組む態度」の向上を図ることとした。「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を生かしながら研究を進めることとした。

11月24日（水）

第三回研究授業

社会科研究グループ

授業者 かめのご学級担任 福田 佳祐教諭

教科名 社会科

単元名 「自動車をつくる工業」（新しい社会 下 東京書籍）

会場 5年2組教室

※感染症対策のため、分科会の先生のみ会場に入り、撮影などをお願いします。

他の先生方は5年1組にて、Teamsで授業を参観します。

## 当日の流れ

### 特別時程

12:45 給食終了・下校開始

13:00 完全下校

※授業開始時刻に間に合うよう、速やかな児童の完全下校に御協力をお願いします。

13:15～13:20 学習の準備

13:20～14:05 研究授業

14:15 5年2組下校

14:20～14:45 協議会（図書室）

学校長 挨拶

分科会提案・自評

研究協議

14:45～15:30 指導講評

講師 東京都教育庁指導部 義務教育指導課

指導主事

宮西 真 先生

課長代理（課務担当） 田中 健太郎 先生

謝辞 副校長

### 協議の視点

○タブレット型端末を活用し、児童の学びをまとめていくことは、児童が粘り強く学習するために有効な手だてであったか。

○前時の振り返りを行うことは、学習の流れを意識しながら、学習に参加することに有効な手だてであったか。

○ゴールイメージをもたせたことは、社会的な問題に対して主体的に取り組むことに有効な手だてであったか。

## 授業内容・協議会について

教科 社会科 単元名「自動車をつくる工業」(新しい社会 下 東京書籍)

本時の目標 自動車生産に関わる人々は、安全に配慮し環境や人にやさしい車を開発・生産するための工夫をしていることを理解し、自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、工業生産に関わる人々の働きを考えたり、これからの自動車工業について考えたりすることができる。

本時のめあて 自動車会社はどのようなことを考えながら車を開発・生産しているのだろう。

### 目指す児童像

「自らの学習を調整しながら、粘り強く、課題に取り組むことができる子」

#### 目指す児童像に迫る手だて

- ① タブレット型端末の活用
  - ・タブレット型端末を活用することで、学習にあきらめずに繰り返し取り組むことができるようにする。
- ② 前時の振り返りと学習計画の確認
  - ・毎時間の導入で前時の振り返りを行うことで、学習の積み重ねを意識しながら、見通しをもって学習に参加することができるようにする。
- ③ ゴールイメージをもたせる
  - ・学習問題や学習計画を明確にし、ゴールイメージをもつことで、児童の追求意欲を高める。

\*\*協議について\*\*

\*\*短冊は3色あります。

グループでなく、各自で書いてください。14:15頃までに記入してください。

青・・・よかった点

赤・・・改善点

黄・・・質問等を書いてください。